

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
 企画 イースタンコミュニケーションズ
 印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111
 八女市祈禱院563 〒834-0025
 HP: www.wing8.com/dcity-yame/

クラッシーのバックナンバー(2010.1.1号より)がインターネットでご覧になれます。
 「デジタルシティヤめ」→クラッシー→検索

11 NOV

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
12	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT	
心配ごと相談(八女市) 八女市社会福祉会館 11月5日・19日 黒木町ふじの里 11月5日・19日 上陽町地域福祉センター 11月12日・26日 立花町かがやき 11月12日・26日 法律相談(要予約) 八女市社会福祉会館 11月14日 黒木町ふじの里 11月21日 上陽町地域福祉センター 11月28日	司法書士相談 黒木町ふじの里 11月14日 八女市社会福祉協議会 11月21日 筑後市 心配事相談 毎週木曜日/総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日/筑後市立病院	くるぎふるさと日曜日 毎週日曜日 上陽ふるさと市 毎週土曜日 ○読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎週土曜日 午後2時~ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第2土曜日 午前11時~ ○赤ちゃん読聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎週土曜日 午前11時~ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第2土曜日 午前11時~	1 閏9月9日 大安 筑後市所蔵絵画展 (九州芸文館~3日)				
2 閏10日 赤口 健康と福祉の祭典 (サザンクス筑後)	3 閏11日 先勝 文化の日 秋色マルシェ恋びより (水田天満宮・恋木神社)	4 閏12日 友引	5 閏13日 先負 松尾弁財天縁日 (立花町)	6 閏14日 仏滅 弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約 ☎ 050-3383-5502	7 閏15日 大安 なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館)	8 閏16日 赤口 福岡大学有信会 八女筑後支部総会 (18:30~・いわ井) 大東寺絵手紙教室展示会 (8~9日・大東寺)	
9 閏17日 先勝 八女軽トラ市 9:00~12:00 (八女観光物産館駐車場)	10 閏18日 友引	11 閏19日 先負 無料弁護士法律相談 13:30~・要予約 (八女民主商工会) ☎ 24-2727	12 閏20日 仏滅 なんでも人権相談所 (筑後市勤労者家庭支援施設)	13 閏21日 大安 市民文化祭(サンコア~16日)	14 閏22日 赤口	15 閏23日 先勝	
16 閏24日 友引	17 閏25日 先負 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	18 閏26日 仏滅	19 閏27日 大安	20 閏28日 赤口 弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約 ☎ 050-3383-5502	21 閏29日 先勝 定例法律相談会(要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所) ☎ 22-5161	22 10月1日 仏滅 人生史サークル黄檭の会 講演 執行昭男先生 (元明善高校校長) 1:30~(八女市社会福祉会館) 秋の大収穫祭 ~23日 (道の駅たちばな) 緋の里巡り in 筑後 (市北西部~23日)	
23 2日大安 勤労感謝の日 八女軽トラ市 9:00~12:00 (八女観光物産館駐車場) 清水山もみじウォーク (八女歩こう会)	24 3日 赤口 振替休日	25 4日 先勝	26 5日 友引 お風呂の日(特典あります) (グリーンピア八女)(公園の宿) (温泉館きらら)(べんがら村)	27 6日 先負 社会保険個別相談会 10:00~16:00(筑後商工会議所) 要予約 0942-33-6215	28 7日 仏滅	29 8日 大安 三二健康教室 手外科であつかう疾患について (14:00~・川崎病院) 長崎県上五島町物産展 ~30日 (道の駅たちばな)	
30 9日 赤口 藤岡弘、講演会 (2時~・八女市総合体育館) ちっごふれあいフォーラム (サンコア)							

”山かひの秋のふかきに驚きぬ田をすでに刈りて乏しき川音”(中村憲吉) 山本健吉編の『句歌歳時記』より。霜月11月、晩秋村里風景。この八女の地にゆかりも深い文芸評論家山本健吉資料室がようやく去る10月13日、八女市制施行60周年、合併5周年を記念し開室、三田村市長、縁故関係者の労による。▼この開室に併せて生前健吉先生よりご愛顧を賜わったという歌手さだまさしのアコースティック・ライブの催し。”おりなす八女・ハーモニーホール”チケット七千円の高額にもかかわらず満席大盛況。市民の心意気にも感服。

また、さださんの歌、演じ方も十分に魅了される。若さを嗔わず、老いを恨まず、いつか来た道、いつか行く道、心に咲く花は季節を惜しまない、与えられたいのち、悲しきもよろし……(残春)。彼の熱唱は現代『和讃』とも心底にひびく歌詞。健吉先生御推挙のゆえんが了解される。

▼健吉先生数多のエッセイのなかで胸にとまっているのは「一期一会」の情感を利休の茶を基に説かれた一節。もてなす主人と客人に共に敬愛の念なしでは、真の茶会は成立せず……”茶の国”とも称するふるさと八女。夫人で俳人としても高名の石橋秀野さんともども健吉先生の御文章に親しまれんことを期待。

天宮ふんぷり 120
 秋のふかきに
 文を読む
 詩人 椎窓 猛